

～レポート作成にあたって～

第3回のレポートでは、「西洋思想（前半）」について学習をしていきます。

- 「人間性の探究」・「経験論と合理論」「民主社会の形成」「カントとヘーゲル」について  
ここでのテーマは、2つ。1つ目は「どうすれば真実を知ることができるか?」、2つ目は、「私たちはどう生きていくべきか?」です。少し難しい内容になるかもしれませんが、有名な哲学者が多く出てきます。しっかりと勉強しましょう。

### 【1】ルネサンス、宗教改革、科学革命の時代 《教科書72頁～81頁》

#### 《学習のポイント》

14世紀以降の思想のテーマは「中世ヨーロッパのキリスト教の思想からの脱却」です。それまでのヨーロッパでは、「キリスト教（教会）の教え」が正しく、それにそぐわない思想は間違いだとされてきました。「魔女狩り」などが行われていたのもこの時代です。芸術・思想・宗教・科学のそれぞれの面で、新たな考えがどんどん出てきました。それまでの考えと比較して学習しましょう。

問1 教科書72頁・73頁および80頁・81頁を参照

A～Cについては教科書72頁本文「ルネサンスとヒューマニズム」を参照。

D～Fについては教科書73頁本文「人間の尊厳」を参照。

特に、Eについては、教科書74頁資料②「最後の晩餐」を、Fについては、資料③「最後の審判」を参考にすること。

G・Hについては教科書80・81頁本文「神の栄光をたたえる科学革命」を参照。

問2 教科書76頁・77頁本文を参照。

(1)～(3)教科書76頁本文「聖書中心主義」を参照。

(4)～(6)教科書77頁本文「予定説」を参照。

### 【2】経験論と合理論《教科書82頁～85頁》

#### 《学習のポイント》

新たな「知」を導き出すための方法には大きく「演繹法」と「帰納法」という2つの方法があります。それぞれの方法を提唱した2人の人物とその考えについて学びましょう。

問1 教科書82頁本文「イギリス経験論—帰納法」および教科書84頁本文「大陸合理論—方法的懐疑」を参照。使用語句を必ず使用すること・

問2 実力問題である。教科書83頁資料②「ベーコンの提唱した帰納法」および教科書84頁資料④「デカルトが提唱した演繹法」を参照。

問3 (1)教科書83頁本文「経験論の展開」を参照。

(2)・(3)教科書85頁本文「合理論の展開」を参照。

～帰納法と演繹法の考え方～

①帰納法

観察によって「共通点」を見つけて一般的な法則にする。  
そのため、「おなじ特徴」をまとめていけば“帰納法”の考え。

《例》

- 【事実①】湧心館高校でみたカラスは黒かった。
- 【事実②】下通りでみたカラスは黒かった。
- 【事実③】東京でみたカラスは黒かった。
- 【事実④】アメリカで見たカラスは黒かった。

【結論】  
すべてのカラスは黒い！

②演繹法

確実な法則から推測して、新たな結論を導き出す。そのため、  
「最初に《法則》や《すでにわかっていること》」が出てくれば“演繹法”の考え。

《例》

- 【事実①】ラーメンを毎日食べると太ることがわかっている。
- 【事実②】A先生は1か月毎日ラーメンを食べることにした。

【結論】  
A先生は1か月後太る！

【3】民主社会の形成《教科書86頁～90頁》

《学習のポイント》

科学の進歩をとげた17世紀～18世紀にかけて、政治についても新しい考え方がみられるようになってきました。そのなかで登場したのが「社会契約説」という考え方です。「人々の人権を守るために国や政治が作られた」といった当たり前の考えが生まれた背景やその中に出てくる3人の思想家の考えの違いなどについて学びます。

問1 教科書86頁本文「社会契約説と自然法思想」を参照。教科書の言葉を使用して解答すること。

問2 教科書86頁～89頁を参照。特に88頁の資料⑤社会契約説の比較を参照するとよい。

【4】カント《教科書92頁～95頁》

《学習のポイント》

カントの考えを一言でいうと、「周りに流されず、自分の頭で正しいと判断したルールに従って行動するべきである」ということです。その思想は難解ですが、このイメージをもって学習に取り組むとよいでしょう。簡単なようで、それを徹底することが非常に難しいこの考えをしっかりと学びましょう。

問1 (1)～(5)教科書94頁本文「道徳法則と義務」を参照。

(6)教科書95頁本文「人格の尊厳」を参照。

問2 実力問題。教科書95頁上部「COLUMN:自由と定言命法」を参照。

## 【5】ヘーゲル《教科書96頁～98頁》

### 《学習のポイント》

ヘーゲルの弁証法の考えを一言でいうと、「対立する考えがぶつかることで、新しいより良い考えが生まれる」ということです。ヘーゲルも思想は難解ですが、このイメージをもって学習に取り組みましょう。

問1 教科書96頁本文「弁証法」を参照。

問2 教科書97頁本文「人倫と自由の実現」を参照。

## 【6】論述問題①

### 《学習のポイント》

これまでの学習を活用した問題です。それぞれを簡単に説明すること。

A・帰納法【経験が大事】

B・演繹法【頭で考え分析することが大事】

C・弁証法【色々な人の考えを聞くことが大事】

## 【7】論述問題②

### 【採点のポイント】

●思想家の考え方が記述できているか？

●思想家の考えによって自分の考えがどう変わったかを記述できているか？

今回の思想家には多くの名言があり、心を打つものも多いです。

どうしても書きにくい場合は、「思想家名＋名言」で検索してみるとよいでしょう。

## 【NHK講座・QRコード】



第16回  
芸術と人間  
～思いを形に  
～



第17回  
人間尊重の時  
代へ



第18回  
合理的精神の  
確立



第19回  
社会契約説と  
は何か



第20回  
人格の尊厳  
～カントの思  
想～



第21回  
民主社会の倫  
理